

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆2024年度の温暖化ガス排出量1.9%減、3年連続で減少 削減幅は縮小

・環境省は2024年度の温暖化ガス排出量が前年度比で1.9%減の10億4600万トンだったと発表。3年連続で減少。発電の電源構成に占める再生可能エネルギーや原子力の割合が伸び悩み、減少幅は前年度の3.9%から縮小。数値は二酸化炭素換算で、政府は30年度の排出量を13年度比で46%減らす目標をかかげる。

#### ◆世界の石油供給、3月は1割減少 IEA「史上最大の混乱」

・国際エネルギー機関(IEA)は世界の3月の石油供給量が日量1010万バレル減ったとの分析を示した。日本の需要の3倍程度に相当。ホルムズ海峡の事実上の封鎖やエネルギー施設への攻撃で「史上最大の混乱が生じた」と指摘。2022年のロシアのウクライナ侵略や1970年代の石油危機を上回るショックをエネルギー市場にもたらしているとの見方示す。

#### ◆孤独感「ある」4割弱、20代から50代高く 内閣府2025年調査

・内閣府は2025年の孤独・孤立の実態を把握するための全国調査の結果を公表。孤独感が「ある」と回答した人の割合は4割弱で、24年調査から微減だった。世代別にみると20～50歳代が高い傾向にある。孤独感が「ある」と回答した内訳は「しばしば・常にある」が4.5%、「時々ある」が13.7%、「たまにある」が19.5%だった。30歳代が最も高く43%ほどだった。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆塗装用シンナーの調達難 経産省、メーカーに生産抑制避けるよう要請

・赤沢経済産業相は閣議後の記者会見で、石油関連製品の塗装用シンナーの調達が難しくなっているとして、メーカーに生産を抑えないよう要請したと明らかに。シンナーの原料の供給について「全体量は確実に確保できているのは疑いはない」との考えを示した。同時に、塗装業者の間でシンナーの必要量確保が困難になっている事例があると説明。

#### ◆LIXILやパナ、ユニットバスなど「納期未定」 ナフサ調達難で

・LIXILがユニットバスについて同日受注分から納期を未定としたことがわかった。TOTOの新規受注停止を受け通常を上回る発注を受けたことに加え、中東情勢の緊迫化で原油由来のナフサ(粗製ガソリン)からつくる素材調達が不安定なため。受注そのものは止めないが出荷は確約せず、今後の状況によっては受注停止する可能性もあるとする。

#### ◆タカラスタンダード、中東情勢の緊迫化で製品供給に影響の可能性

・タカラスタンダードは中東情勢の緊迫化に伴い、同社製品の一部で納期や出荷数量、価格などに影響が生じる可能性があるとして発表。中東情勢の緊迫化を受け、原油やナフサなどの調達環境に影響が出ており、原材料の調達が不安定な状況にあるという。事態が長期化した場合には、製品供給に影響が及ぶ可能性があるとしている。

### 《 注目商品 》

#### ■パナソニック、エコキュート 清掃性と温浴効果を強化して刷新

・家庭用ヒートポンプ給湯機「エコキュート」の全7シリーズ53機種をフルモデルチェンジ。水まわりのピンク汚れや肌の皮脂を落としやすくする「ウルトラファインバブル」を16機種に搭載。そのうち4機種には「マイクロバブル」採用の「美泡湯eco」を搭載。



#### ■ジャニス工業、洗面器のパターンオーダーを開始

・洗面器・手洗器のパターンオーダーの新ブランド「irodori(いろどり)」を開始。サイズは対応範囲内であれば自由に指定することができ、色は基本色ホワイトに加え、10種類の受注色、特注色も可能。小ロット国内生産による在庫リスク削減を実現。



#### ■東芝ライフスタイル、市販冷凍食品の自動あたため機能を搭載した「石窯ドーム」

・業界最高オープン温度350℃の過熱水蒸気オープンレンジ「石窯ドーム」の新製品として、市販冷凍食品の自動あたため機能を搭載した全2機種を6月より順次発売。低出力での連続運転が可能。冷凍食品の加熱ムラを抑える。「市販の冷凍食品あたため」は、出力・時間の設定が不要。

